霧島市立国分北小学校 学校だより　令和6年10月

北小の風

校訓「正しい知識・豊かな心・強い身体」　創立55周年　児童数416人　TEL 0995-46-0588

国分北小に受け継がれる思い

国分北小学校　川野　浩明

国分北小学校には，卒業記念樹や，記念碑，周年行事で立てられた碑がいくつかあります。周年を祝うものだったり，また学校で再会するためのシンボルだったりすると思いますが，１号棟校舎の後ろには，創立１５周年の記念碑があります。

【創立15周年記念碑】

この碑を見ると，当時のＰＴＡが建てたようで，「憩いの森」と書かれ，学校の校訓が刻まれています。そしてこの碑の周りにはいろいろな木や植物が植えられています。

【ユッカの花】

９月のある日，この記念碑の近くで，１m以上ありそうな立派な花が咲いていることに気付きました。とても気になり，早速調べてみると，ユッカの花であることが分かりました。ユッカもいろいろな種類があるようですが，ユッカの花が咲くのは，数年に一度と言われているようです。

そして，この木は，別名「青年の木」とも言われ，勢いよく上に伸びる成長力と太い幹の姿の様子を青年の成長に例えたことが由来だと言われています。また，ユッカには，勇壮･偉大･颯爽というスケールの大きい花言葉があることも分かりました。

いろいろ調べていくうちに，この木には，その当時のPTAの方々が，子供たちへ託した強い想いがあるように感じました。記念碑だけでなく植えられた木，一本一本にもその想いや願いが込められていて，健やかな成長を願う気持ちを40年経った今改めて感じることでした。

普段は気付いていませんでしたが，花が咲くことでこの木のすごさに気付くことができました。これは，子供も同じで，普段は目立たなくても，実はすばらしい潜在能力を秘めていて，それを咲かせることができたなら，きっとその子供は輝くことができると示唆しているようでした。

教師の仕事は，子供たちの可能性を見付け出し，伸ばし，輝かせることです。当時のPTAの方々の思いを受け継ぎ，そんな取組ができるよう，これからも国分北小職員一同がんばっていきたいと思います。